



ごあいさつ

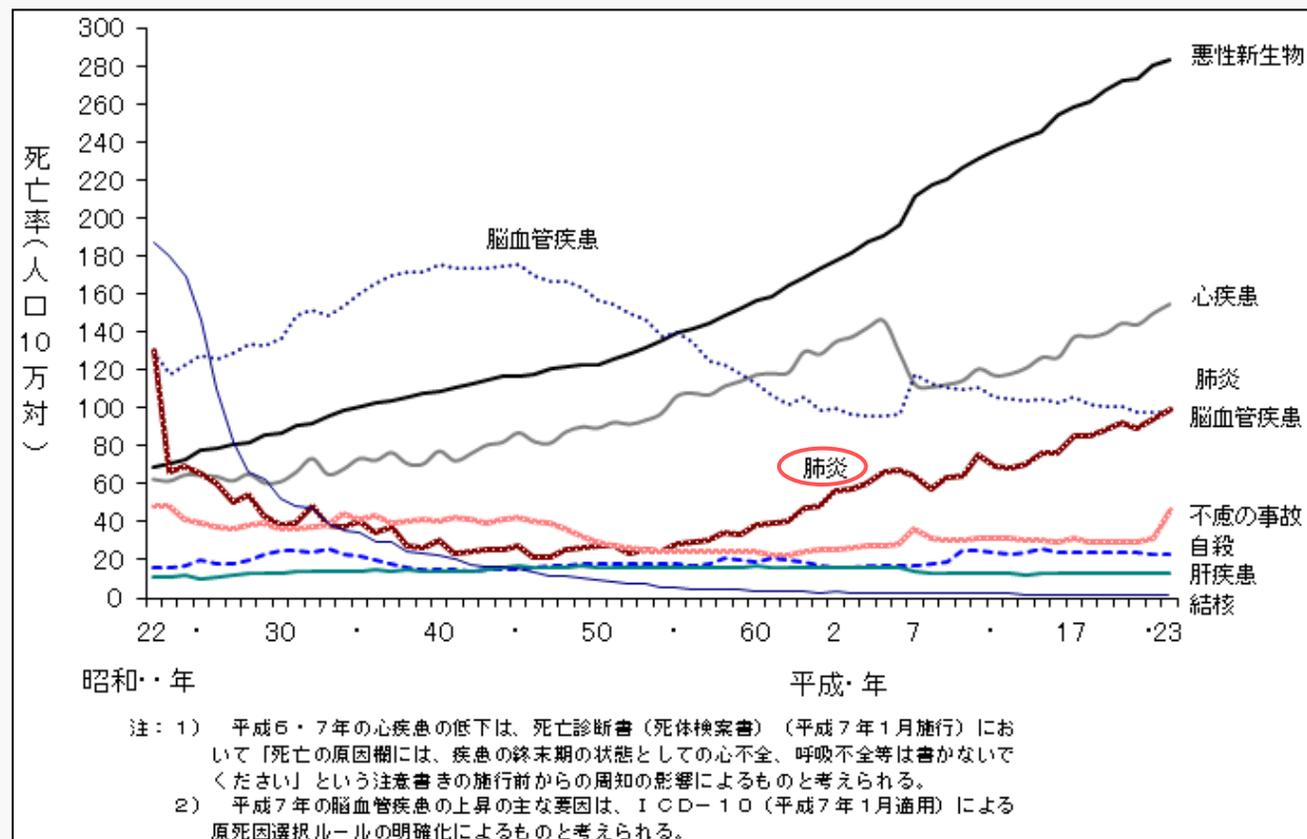
院長 貝嶋 光信

我が国の死因統計に一大事が起こったことをご存じでしょうか？ 最近テレビのCMでも時々流されていることですが、日本人の死因第3位に「肺炎」がランクアップされました。戦後60年以上、「がん」、「心臓病」、「脳卒中」が三大死因と言われていました（下グラフ参照して下さい）。がんと心臓病は現在も増え続け死因の1位と2位を維持していますが、脳卒中は緩やかに減少してきています。そして肺炎が急速に増え続けており、平成23年のデータでついに脳卒中を抜いて3位に躍り出たのです。



これは特に高齢者の方が風邪をこじらせて肺炎になったり、食物をうまく飲み込めず（これを誤嚥と言います）肺炎を起こすと直ちに命に直結することを示しています。事実、お元気であったお年寄りが急に亡くなる原因の一位は誤嚥性肺炎です。

この誤嚥の予防には嚥下の訓練、すなわち喉の運動を励行することです。大きな声で喋ること、新聞の記事を声を出して読むことは有効です。家に閉じこもらないで外に出ること、歌うこと、毎日うがいをして喉を鳴らすことが大切です。さあ、喉を鍛えて嚥下上手になりましょう！



病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の病院建物内および駐車場、通路を含む

敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院ホームページアドレス：<http://megumino.or.jp>

循環器内科紹介

循環器内科部長 福澤 純

<部門紹介>

狭心症、急性心筋梗塞などの虚血性心疾患、各種不整脈疾患、弁膜症疾患、各種心筋疾患（心筋症、心アミロイドーシス、心Fabry病）および末梢血管疾患（下肢閉塞性動脈硬化症や血栓性静脈炎）などの心臓・血管系の疾患の診療を中心に行っています。疾患の特性上、救急の占める割合が多く増えているのですが、最近では地域の診療所や病院からの紹介で非急性期の疾患（心筋梗塞発症まえの狭心症）がそれ以上に増えています。



<医師紹介>

福澤 純（循環器内科部長）：循環器学会専門医、高血圧学会専門医および評議員
成田 浩二（循環器内科部長）：循環器内科専門医
牧口 展子（循環器内科部長）：循環器内科専門医、日本心血管治療認定医
佐藤 亜紀（循環器内科部長）：循環器学会専門医、核医学学会専門医
下岡 良典（循環器内科医長）：循環器学会専門医申請中

<活動内容および実績>

2012年度には急性心筋梗塞54人、心不全患者91人の患者様が入院されています。冠動脈（心臓を養っている血管：閉塞すると心筋梗塞になってしまいます）のカテーテル治療数（PCIとよばれています）が2012年には277件となり道内施設でDPC病院としては10番目の多さになっています（札幌地区以外では釧路および函館の各1施設につぐ3番目でした）。2009年には47番目だったので短期間に施行件数が多くなっています。これは各患者様からばかりではなく、近隣の施設の医師からの信頼も得られた証であると思われます。

PCIには風船単独による拡張治療およびステント（金属のメッシュ状の鞘）留置が一般的ですが、私たちの施設ではロータブレード（カテーテル先端の金属の表面に微細なダイヤモンドチップがコーティングされていて、これを高速で回転させて、風船治療などに反応しない病変を削り取る）治療も行っています。施行するには厳しい施設認定基準がありますが、全てクリアできています。これらの治療には精密な評価が必要です。一般的に行われている、冠動脈造影検査や血管内超音波検査（IVUSとよばれています）だけでなく、OCTとよばれる近赤外線を用いた超精密評価システムも利用しており、2012年度北海道で1番の施行件数となっています。

循環器系の疾患の治療は上記のようにカテーテルを用いた治療が普及してきましたが、対象によっては外科による手術治療が必要な場合が多くあります。（2012年2月に天皇陛下が受けられた手術もその一部です）

血管造影室



カテーテル



当院では心臓血管外科が常設されており、札幌医大胸部外科によるバックアップの元、最新の外科治療が行われており、リハビリも含め、診断—治療（内科、外科）—リハビリという院内完結型の循環器診療が行われています。

不整脈疾患に関しては徐脈性（脈が遅い）疾患に対してはペースメーカー植え込み手術を行っており、昨年の施行件数は34件となっています。頻脈性（脈が速い）疾患の一部に対して行われているカテーテルアブレーション治療は、診断後に提携施設を紹介させていただいています。（近い）将来的には当院で完結できる仕組みを作る予定です。

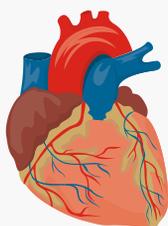
虚血性心疾患は危険因子（高血圧、脂質異常、糖尿病など）が知られており、糖尿病内科と協力してそのコントロールおよび合併疾患の早期発見に努めています。高血圧に関しては24時間自由行動下血圧測定（24時間血圧計）による診断も行っており、最近疾患との関連性が注目されている夜間（就寝中）血圧の評価も行っています。

ステント

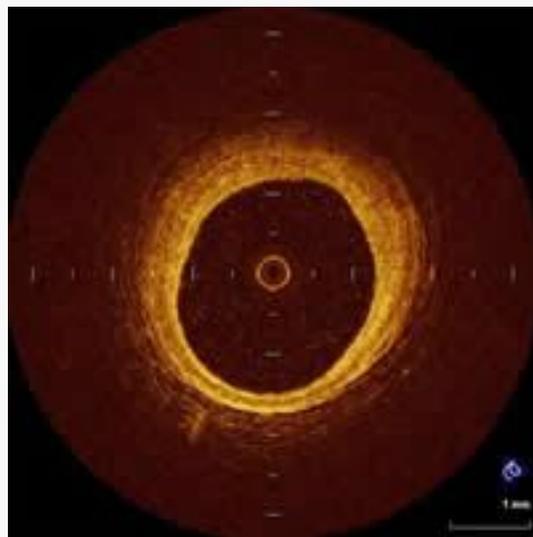


さまざまな大きさのステントがあります

24時間血圧計



OCTによる画像



「地域の健康講座」に行ってきました。

地域医療連携室 松井

9月9日たよれーるきたの日、島松憩いの家で、9月12日たよれーるひがしの日、福住憩いの家で、8月12日に引き続き、お医者さんによる地域の健康講座として、当院 循環器内科の下岡良典先生が講演を行いました。前回同様の内容ではありますが、「心臓病と狭心症について」で、島松で22名、福住で31名の参加がありました。

講演のあとは、恒例の質問コーナーでは、“心不全の指標になるBNPは、健診でもわかるの？”“心臓の弁の手術を受けたが、本当に10年もつ？”など参加された皆様から、様々な質問が寄せられていました。



たよれーるひがしの福住憩いの家で開催の際には、FMラジオ局 e-niwaの“お昼の情報番組エッセンスのまちかど中継”取材があり活動の様子が放送されました。今後も地域に出向き、こうした活動が継続的に実施できるようにしていきたいと思ひます。



インフルエンザワクチン接種予約について

10月1日（火）よりインフルエンザワクチン接種の予約を開始しております。対応させていただける人数には限りがありますので、原則として予約制とさせていただきます。

一般診療がある患者さんは診察前までに受付スタッフにお申出いただければ接種できますが、長時間お待たせしない為出来るだけ予約をお願いします。
なお、当院のインフルエンザワクチン接種の対応期間は11月～12月末までとさせていただきますので、早めにご予約と接種をお願いします。

- 予約方法 1階「診療予約」または「お電話」にてお申ください。
Tel0123-36-7555（インフルンザ予約担当）
- 料 金 1回につき2,520円

※恵庭市在住の65歳以上の方は市の助成制度を受けられる場合がありますので、恵庭市発行の広報又は受付スタッフにお問い合わせください。

